

# この実だより

《第204号》  
2016年5月号

発行者  
社会福祉法人 札幌この実会  
札幌市西区西野969番地  
TEL. 011-663-2233

## 座談会

これからの福祉を担う若者に  
伝えたい事

前編

社会福祉法人 榆の会

総合施設長

加藤 法子

社会福祉法人 HOP

管理者 田中 耕平

この実グループ 下支え

加藤 孝

進行 この実支援センター

口屋 美子

口屋 今日(今日は)年度末のお忙しい中お集ま

りいただきましてありがとうございます。

今、人材不足など福祉の

世界では色々課題はありますが、

それでもこの福祉の道で頑張りたいという人達に是非伝えたいこと

をここで伝えていければと思います。

その中でどうぞよろしくお願ひしま

す。

加藤孝 この先は大変な時代になるぞ。

関東のある施設では職員が一度に

退職したんだ。全員の仕事をみ

つけてな。それは経営者に問題が

あるのか。何かがきつとあるんだと  
思う。人がいなくて皆バンザイして  
るんだから。

加藤法子 福祉を自指したいという人はい  
るんだと思うんだけど、では仕事と  
して選ぶとなった時に、今の制度で  
ギリギリでやっていて、暮らして支  
えていくっていうことはお金になら  
なくてもやらなれないといけないこと  
もたくさんあるじゃないですか。そう  
なると労働条件の見え目としては魅  
力のある打ち出し方ができない。



法人本部事務所 二階にて

田中 私が言うのも何ですけど、福祉が雇

用になっちゃってしまっただよな。私は

この仕事を始めて二十一年目なんです

けど以前はまだそんな風潮はなかつ

たと思うんですけど。私は  
西区に住んでいたものです  
から、障がいの福祉のこと  
を知りたくてこの実会で実  
習をさせていたんだけど時期  
があつて、その時に委員長と  
初めてお会いしたんです。

福祉のことを勉強したいの  
かと聞かれて、勉強したい  
と答えると、じゃあどこか  
に行つて住み込んでこいと  
言われました。そこは雇用  
という話はなかったです。し  
やる気があつたから飛び込  
んでみたけれど、今の若い  
人はちよつと違うかもしれ  
ませんね。この二十一年間  
で変化してきた部分があるの  
かもいれないですね。

働く人の権利みたいなもの  
ももちろんあると思うんで  
すけど、壁工船みたいな話  
もありません。

今福祉が壁工船っていう表  
現を使っているわけですよ。  
護送船団方式だからな。こ  
れは政治家小泉恵一郎が思  
い込んだ。日本のいろんなも  
のを壊してしまつた。

法子

委員長

法子

法子 そろそろですね。経済や労働に介護も障がいも保育も巻き込まれてしまいいま一だね。

衆長 これからは、吸収・合併・乗っ取り・解散に向かうことは間違いない。新しいホールディングを作っているところというところ。持ち株制度のことだ。でかいところはそれなりに大変だと思うけど、我々の考え方は主人公は〇〇さんや△君なんだ。主役がいて俺たちは脇役なんだけど、いつの間にかそうでなくなっている。大変な時代になった。寄生虫だ。本人たちは寄生して吸える血を全部吸ってしまおうという。

田中 社会福祉法の改正で話が色々出ていますけど、結構な内容の議論がされているんですよ。役員構成すらも変えていくというのがみえます。

衆長 家業の人がいるから、そこを何とかしようと思っっていると思うんだけど、それをもって議決権を評議員会に渡さうとか色んなこと言っている。国はね、社会保障が子供から高齢まできちっとしていなると豊かになっっていくんですよ。日本は半端なんだから、この国はおかしいよ。

法子 そこに利権が絡んでいるからね。建物にいても何にいても、同じ仕事をし

田中 いる施設の施設長と云われている連中の中に名譽・権力・銭みたいなね。地方に行くとも名士になってるわけよ。役場・農協・郵便局に福祉施設、地方都市に行くともそういう社会福祉法人が多いですよ。

田中 振りが打ちで行かないと駄目ですね。そういう状況が増えてきたと思います。札幌でも。

法子 情けないな。

衆長 放課後デイサービスが札幌も増えていて、本州の大きなコンサルタント業者が、お金になるぞと出来ている。

衆長 経営コンサルタントのもの。こうやれば儲かるってな。

法子 障がい者の事業が儲かるってことが経済の流れの中ではある。

口屋 就労関係でもありましたよね。法子 そろそろ。福祉を食い物にして言っているのと同じだと思っただけ、可もなく腹が立つ。

田中 昔から事業所とされてる方はわかると思っただけで、冷静に考えたら儲からないんですよ。そういう仕組みにできては行かぬですね。その辺をどう変えているというか、そもそも目的は何かという所ですよ。

衆長 基本のね、理念や哲学が次の世代、次の世代と移った時に薄くなって言葉だけになってるんだ。言葉だけは色々残しているけども五体の中に回っていないんだ。血肉になっていないんだ。後継者と言われている人たちの、そこがとっても大事なんだ。

田中 就労支援なんかで、たくさんの方々ができて、素晴らしい取り組みをしているからとそこに行って働くんですけど、その事業が長期に渡って存続できてない。経営が傾いてくると事業所を簡単に閉めちゃうって、そこに通っている方々の行き場がなくなってしまうという話をすごくよく聞きます。それでは駄目だと思っただけですよ。他の仕事と違うのは、責任を持って維持存続して、将来につなげていったり一緒に考えていったりという部分だと思っただけです。



法子

今、色々事業運営してきて、制度を使  
いながらやらざるを得ないじゃないで  
すか。メニユーはたくさんあるんす  
けど、ほんとに生かす殺さずにつ  
てるなって思っで。重い人の生活を支  
えるには使えないものがたくさんあ  
って、こういふものを作っでほしいと言  
ったら、あるでよって言われると思  
うんです。

衆長

そんなの無視すればいいんだ。  
働いてくれる人に給料を払わないとな  
らないからね。

衆長

愛な話だね。措置制度に戻せ  
ていう奴らが出てきたんだ。ここま  
で来たら戻ることなんてできないんだ。む  
しろ介護保険に統合して、俺たちと踏  
んづけて更に落としていくという考え  
方なんだから。

田中

介護保険との統合の話は出ていますけ  
ど、真剣に考えないとならない話だ  
と思えますね。措置に戻せとまでは言わ  
ないですけど、高齢者福祉はもうマイ  
ノリティの世界じゃないと思うんです  
よ。大勢いますので。障がいのよう  
なマイノリティの部分についてはきちん  
と税で保障されるべきだと思っ  
た。その辺きちんと区分けして、何  
でもかんでも介護保険に統合して全部

一緒にいていけるにはどう少く議論が必  
要ですね。



衆長

介護保険統合については俺は猛反対  
なんだ。飯食わせて、ウンコシッコと  
って一丁上がりって、そんな話どこに  
あるって。年とって就労っていうの  
はないのか、と言って歩いて手稲山の  
フルクルパーって言われたんだ。こ  
んなことやたら破壊する。年を重ね  
ても、俺たちのジジババは働いてた  
働くことが体を健康にして、心を健康  
にして医療費を食わないんだ。って俺  
は怒鳴ったんだよな。それなら手稲山  
の馬鹿だって、そう言われたんだ。雲  
仏（入所解体）を見に来たことがあるんだ。  
俺のことをなんて言ったかというところ

田中

「岩に爪立ててるようですね」と言  
った。  
皆さん表現が素晴らしいですね。  
法は無視できないけど、色んなことは  
伝えていかなきゃ駄目だ。家賃補助の  
話と伊達に行くまでの間のうちのオン  
ホロバスの中で決まったことなんだ。  
小林繁市さんは関係の予算をちゃんと  
知ってるから家賃補助になった。小林  
さんって大いなる男だよ。人脈だけな  
く国策予算の障害分野のところをち  
んと知ってるから。

田中

家賃補助の制度の効果は素晴らしい  
ですね。全然違いますね。そこは踏み  
入れたのは大きいと思いますし、今お話  
聞いていると、それをやるためには色  
んな仕組みを知っていないとならない  
ですね。僕らもそういう勉強もしてい  
かないとならないと思っますけど、支  
援をするのは大事ですけど、それだけ  
はなくて運動として新しいものを創り  
だしていったり、そういう楽しみもこ  
の仕事にはあると思っます。

法子

お給料の金額とかでなくてね、自分  
たちが認められて、一歩懸命やっ  
ていける人が認められる社会になっ  
てほしいですね。器用になくさん  
仕事こなすことを認められるのも  
もちろんいいけど、その人なりに  
一〇〇%ならいいんじゃない



田中

ないって思うんよ。

結局、自己実現が大事だと思っ  
て。その人が何にたくて、どうして  
やたいのか。一昔前に自己選択自己決  
定という言葉がこの業界を流行ら  
せました。ピンとこなかつたんです  
。と。泰長とお話して、自己選択  
自己決定ももちろん大事なんです  
。基本的には人間というのは共同決  
定というお話を聞いて、すごくし  
んがります。

泰長

日本の人間風土とかそういう所は共同  
決定であり共同責任である。自己決  
定自己責任というのは、北欧とかの方  
の話で、日本という国を考えるとそれ  
は難しいことで、本人と親兄弟と我々  
で決めたことであって、それは共同決  
定である。もう一つ共同責任である  
というの、俺らも何人が七くして大変  
な想いをしたことがあるけども、や  
ぱり自己責任という形にはできないよ  
な。

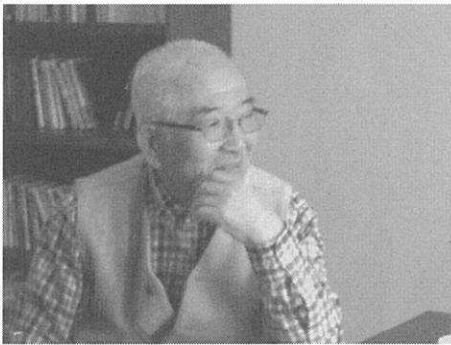
田中

今陣がいのある人という枠が広がって  
いると思うんですよ。何かの原因で生  
活の中で課題とか困難が生じている人  
にも福祉の支援が必要といわれている。  
そんなときでも、皆で関わって、皆で  
考えて、皆で決定して責任をとって  
いく、これが支援の流れであって、一番

泰長

大事なことで、そこが仕事だと思  
うんですよ。その中で利用者さんは勿論  
職員もそこで自己実現が出来るという  
形があればいいと、と楽しいんじや  
ないかと思います。

日本の専門性っていうのは言葉遊びだ  
よ。言葉は大事だけど相手に届かない  
言葉を使ってもね。彼らに感じる言葉  
が大事であって、特殊な世界だけで通  
じる言葉はヤブザの世界と一緒だ。そ  
うじゃなくて昨日来た職員、昨日来た  
本人、その後ろにいる親兄弟にもわか  
りやすい言葉、それに置き換えていく  
力がなかつたら専門用語だけじゃ俺は  
通じないと思う。普通の言葉で話せ  
てうちが言ってるの、そういうないと  
国民のものにならないよ。この世界だ  
けが通じる言葉なんて。



田中

今後社会福祉法人がどのようになり  
ていくのか、さっき吸収合併の話も  
あったように変わってきています。で  
僕らはもっと勉強してそのことも戦っ  
ていかなきゃいけないと思います。じゃ  
ないと守りたいものが守れなくなる気  
がします。

法子

そういうこととの戦いが必要ですね  
措置費の時代とは違ってお金のことは  
非常に厳しいので、経営ということに  
頭を使わないとならぬですね。

田中

泰長

経営のことだけ考えていても駄目です  
しね。  
丹組みが難しくなってきたんだ。でも  
そこはその人達の時代で考えればいい  
し。

法子

去年、自分たちの地域で事件があつた  
んですよ。すごい責任感じましたね。  
どう見つけたらどう支えれば良かったん  
だろう。

泰長

区民って言っても隣の事は考えなくて  
いい人は多くなったよ。エゴ丸出りの  
住民だからな。市民は私の事も公の事  
も考えろというのが市民だけと単なる  
エゴ丸出りの住民だ。

法子

社会の中で、そういう人達と地域にお  
けないという風潮があつて家族もそう  
せざるを得ない。結局メディアとかで